

# UNWIND HOTEL&BAR 札幌

## グローバルエージェンツ

ローカル事業者とのコラボレーションで  
テントサウナ体験付き宿泊プランを販売

札幌ならではの特別なサ活を  
地元の盛り上げに活用

大浴場に新たにサウナを導入したり、プールサイドにテントサウナを一定期間設置してイベント開催にぎわいの創出につなげようとするホテルがふえつつあるなか、地元企業とのコラボレーションによりサウナの関心を集め、客室需要につなげたホテルがある。全国11棟・約1200室を運営する㈱グローバルエージェンツの「UNWIND HOTEL & BAR 札幌」(以下、アンwindホテル札幌)がそれだ。いま札幌で最も話題のレストランの一つ、住所非公開のアウトドアレストラン「mountainman」(以下、マウンテンマン)とタッグを組み、コロナ禍で元気を失っていた地元の盛り上げに貢献した。

同ホテルは地下鉄南北線「中島公園」駅徒歩4分。ロッジの世界観を再現し、非日常感と自宅感というロッジの純粋な魅力を体験してもらえることをコンセプトに2017年2月に開業。インバウンド客が6割を占め、残り4割を国内20歳〜30歳代の男女をメイン客層に安定した

運営を行なえていたものの、コロナショックで需要が減退。これが同ホテルとしての独自性、札幌ならではの魅力に紐づいた体験付き宿泊プランづくりを推し進めるきっかけとなった。

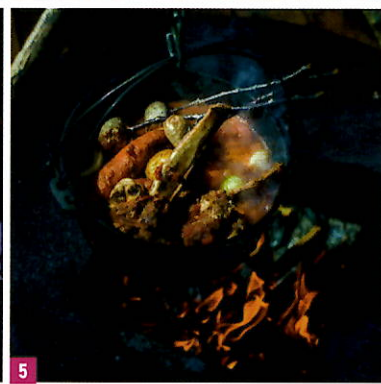
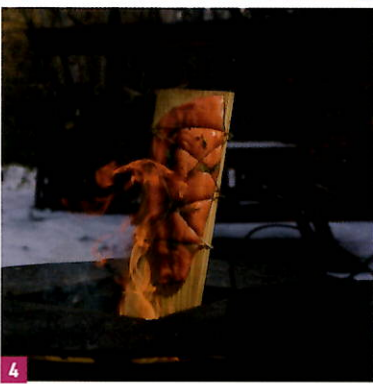
一方でマウンテンマンは、札幌都心から車で30分、住所非公開の森に佇むアウトドアレストランとして21年7月にオープン。2台のエアストリームとレストラン棟などを舞台に、山男たちから「山暮らしの知恵」をコンセプトに考案された焚火料理が提供されるという趣向と、唯一明かされている暗号(緯度と経度を頼りに訪れなければならない宝探し感覚や遊び心で話題を集めるレストランに、同年10月には第1弾コラボが実現し、マウンテンマンでのブランチがついた宿泊プラン(金・土曜日限定)が販売されるに至っている。

上述のサウナは、12月20日から開催した第2弾コラボによるもの。料理を待つ間や食事後に楽しめるよう、マウンテンマンが夏の間も提供してきたアクティビティの一つとして、敷地内の森のなかを流れる清流のほとりで楽しめるテントサウナ(Mabba

1







1. 2. 水風呂ならぬ雪風呂へダイブ

3. 4. 5. 住所非公開、座標を頼りにたどり着いた先では、山暮らしの知恵・保存食を使ったポタージュやジビエ、スモークサーモンなどの焚火料理が堪能できる「マウンテンマン」。コースもあり

6. ロッジの世界観を再現した「UNWIND HOTEL & BAR 札幌」

注：第2弾コラボは3月末に終了。次回は6月以降を予定している

社バックバックサウナ)の冬バージョンを、非日常感溢れる札幌ならではのサ活としてサウナーや観光客などに訴求すべく、再度タッグを結成している。

具体的には、薪を炊きロウリュで温まった身体を氷のように冷たい川やパウダースノーへダイブすることで水風呂替わりとした後は、用意されたインフイニティエアやバスタ

ブのなかで自然を感じながらとることができ、暖かいエアストリーム室内、あるいは冬季に新設されたウッドデッキ上の焚火キッチンで行なわれる調理を間近に見ながら極上のサ飯も味わえるというもの。

夏季にマウンテンマンが金・土・日祝日に食事をする利用者に限り、1万5000円で販売(1日2組限定・完全予約制/3時間まで/定員6人まで)していたものだが、キャンペーン価格の1万円としたうえで、アンワインドホテル札幌もマウンテンマンでのテントサウナや食事代にも使える3000円相当の体験チケットをつけた宿泊プランとして販売。全国のサウナーから多数の問合せが寄せられたという。

サウナを通じ、同ホテルは販路を広げることができ、マウンテンマンとしては宿泊機能を補えたという点で、相乗効果を発揮できたケースと言えそうだ。